

# みんなの 町議会

広島県  
神石高原町

第63号

令和2年7月15日

6月定例会	2
6月補正質疑	4
町政のココを聞く	6
こんなことが決まったよ	16
ありゃあどうなったん?	17

グングン伸びる!  
畑の中に家族の笑顔



6月定例会は6月15日から6月23日まで開かれました。  
提出された令和2年度補正予算や工事請負契約の締結など19議案を原案の通り可決しました。  
第3セクターの経営状況や神石高原地域創造チャレンジ基金の経営状況などの報告があり承認しました。  
また、横尾正文議員の議員辞職が全会一致で承認されました。  
一般質問は10人の議員が、町政の課題などについてたずねました。

# 予算!!

## 感染症の拡大防止と する町独自の施策

### 町独自

#### 事業継続・雇用維持・ 地域経済対策

中小・小規模事業者への支援  
(4月)

◆緊急支援給付金 **3000万円**  
売上減30%以上の事業者へ(従業員20人以下)

(4・6月)

◆継続支援給付金 **2500万円**  
緊急支援給付金の期間延長

(6月)

◆雇用維持助成金 **2000万円**  
売上減30%以上の事業者(従業員21人以上)

(6月)

◆特定給付金10万円を町内で使おうキャンペーンのためプレミアム通貨の増額 **350万円**

(6月)

◆神石牛の安定出荷目的の奨励金 **201万円**  
など

継続した支援を

### 町独自

#### 感染拡大防止対策 など

(4・5月)

◆パーテーション、防護服、マスク及び消毒液の購入 **239万円**

(6月)

◆各種支援を周知するための広報や感染症対策のための会計年度任用職員を雇用 **173万円**

(6月)

◆町内の医療機関・福祉事業所に支援金を給付  
・病院、診療所、歯科 5万円  
・薬局、介護事業所、障害者通所作業所 3万円 **184万円**  
など

町民への周知はしっかりと

# コロナ禍に 負けないための

補正予算 (4・5・6月)

一般会計 **11億5181万円**

補正後予算 **137億181万円**

## 新型コロナウイルス 喫緊の課題に対処

### 令和2年度予算会計別総括表

単位：万円 (四捨五入)

会計名	当初予算額	4・5月補正額	6月補正額	6月補正後予算額	
一般会計	125億5000	9億4816	2億365	137億181	
特別会計	国民健康保険	10億2440	116	965	10億3521
	後期高齢者医療	3億7910		300	3億8210
	介護保険	18億1600		3981	18億5581
	簡易水道事業	2億5000		414	2億5414
	飲料水供給施設事業	3800		200	4000
	農業集落排水事業	2億8320		531	2億8851
	分収育林事業	10			10
	総合開発事業	180			180
	特別会計計	37億9260	116	6391	38億5767
	病院事業会計	9億3198			9億3198
合計	172億7458	9億4932	2億6756	184億9146	

### 町独自

#### 安心・安全な生活の 確保対策

(4月)

◆家計負担の軽減

子供一人につき商品券5000円分  
**259万円**

(5月)

◆ひとり親家庭等1世帯3万円

**156万円**

(6月)

◆小中学校遠隔授業対応のための  
かがやきネットプラン変更分支援

**542万円**

(6月)

◆夏季休業期間の変更に伴う  
スクールバスの運行

**1089万円**

など

第2波への準備も万全に

# 注目の補正予算

## 学校教育諸費

補正額

**1997万円**

- 小中学校の遠隔授業の実施環境を整備。
- 電子黒板などの購入。

教育課

## 保健衛生総務経費

補正額

**2181万円**

- 神石地区の継続的な医療の確保を目的として、診療所を購入。

保健福祉課

## 災害復旧費

補正額

**7062万円**

- 神石地区広域農道などの災害復旧事業

建設課

## 町道維持補修経

補正額

**2000万円**

- 町道の維持補修の実施

建設課

## 飲料水確保対策

補正額

**275万円**

- ボーリング等個人飲料水水源施設新設に対する補助

環境衛生課

## 保育所・幼稚園 遠隔相談等支援

補正額

**227万円**

- 保護者の遠隔相談など情報連携を図るための環境整備

子育て応援課



筋力低下のリハビリも兼ね  
デイサービスへ向かう被介護者

診療所購入

**橋本議員** 遊休施設が多数ある中、神石地区の診療所購入は地域医療を守る強い町長の決意を感じる。購入後の診療所運営はどうなるのか。

かがやきネット運営

**林議員** 第一波の時、自粛中に家でのスマホ使用の集中で回線が混んだが大丈夫か。

**副町長** 当面、現在の医師で継続する。今後、町立病院と診療内容など含めた協議を重ね方向性を出していく。

**まちづくり推進課長** この度は、学校教育のコロナ対策で授業が受けられないという状況にかがやきネットを利用するもので、一般的な使用での対応は考えていない。

医療高齢者施設等  
従事者特別給付金

**林議員** この給付金が事業の数に対し138万円は少ない。介護施設の対象事業によって給付金がないとか、不公平がないようお願いしたい。

**保健福祉課長** 介護事業所のヘルパー事業部門とかの事業に対して3万円という計算。事業所の方の運営状況を聞き取りし、登録申請の事業者に対しすべて明かせて頂く。

## 令和元年度 第3セクター決算

(令和2年3月31日)

### ◆ 第3セクター販売状況

単位:万円(四捨五入)

会社名	R1売上	H30売上	昨年対比	税引き前利益	運営補助等
(株)神石高原農業公社	7,352	7,399	99.5%	▲213	1,378
(株)帝釈峡スコラ	9,079	8,856	102.5%	92	898
(有)さんわ182ステーション	5億2,278	4億9,013	106.7%	▲1,213	2,619
合計	6億8,716	6億5,268	105.3%	▲1,334	4,895

### ◆ 神石高原地域創造チャレンジ基金

単位:万円(四捨五入)

現金預金(一般)	116	未払金	93
現金預金(特定)	2,877	預り金	19
		長期借入金	6,000
投資有価証券 (投資株式)	2,000	正味財産	
(株)ヴィレッジホーム光末		正味財産(一般)	303
(株)中ちゃん農園	200	正味財産(指定)	1,077
(株)フェアトラベルジャパン	1,000		
ナオライ神石高原(株)	300		
(株)ヤマテツRising	1,000		
資産 合計	7,493	負債・資本 合計	7,493

## 報告質疑

### 大丈夫か、チャレンジ基金

#### 木野山議員

(株)ダストマンズは油木高校の動画クラブを指導すると聞かすが、どういった収益の方法をとるのか。

#### 政策企画課長

映像を制作する会社で、油木高校生にそういった仕事があることを教えるもの。高校生を使って儲けようというのではない。

#### 横尾議員

フェアトラベルジャパンの民家改修が遅れた理由は。

#### 政策企画課長

韓国からの資材が遅れたのが原因だ。改装は国産材も当然使っている。

#### 横尾議員

10年先20年先を考えるとチャレンジ基金はやめるべき。

#### 町長

チャレンジ基金制度は、補助金に代わる画期的なものなので、しっかりと財務基盤を確立し継続していきたい。

### ずれていないか、経営感覚

#### ★さんわ182ステーション

藤田議員 損失が1200万円出ている。人を減すなどの努力を行うといった真剣な経営感覚がなければだめだ。

もともと農家所得の向上という大原則がありフードコートなどに力を入れるべきではない。

#### 町長

大きなりニユアールにより初めて赤字となった。農産物は売り上げが上がっており農家への還元はされている。

#### 藤田議員

市販のお菓子を置いているが、地域商店は打撃を受けている。

#### 町長

産品がメインのお店なので確認したい。

#### 横尾議員

人件費が増えたための赤字と聞かすが。

#### また、発泡酒の最小ロットと賞味期限は。

#### 産業課長

フードコートの人材を早め採用して研修などを行ったため売り上げがない中で人件費が増えた。

発泡酒は1ロット24本から納入となっており賞味期限は3か月。

#### 横山議員

百彩館では今年度はお客様を呼び戻す計画であったが、どういった見直しをしていくのか。

#### 産業課長

地元産以外の販売を聞いている。地元の商店への配慮も考えながら商品を少しずつ増やす予定。

#### 横山議員

目玉的なものが欲しい。例えば立派なトイレなど考えては。

#### 産業課長

会社と産業課で考えていきたい。

#### ★農業公社

橋本議員 事業収益は稲作がメインだが年々受託面積が減っている。見直しを立て赤字部分をどう圧縮するか本気で考えるべきだ。

#### 産業課長

社長もかわり現在今後の運営方針も合わせて構想を考えている。今後社員にも説明しながら将来的な運営にあたっていく。

# 町政の「こ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします  
全文については順次更新しますので、町ホームページをご覧ください。



橋本 輝久 議員

## 問 町財政に影響は

答 国・県補助金を最大限活用



**問** コロナ禍の支援事業は、緊急性を要するものであり、町の素早い対応は評価する。しかし自主財源が乏しい本町では独自の支援策には限度がある。どうしても国・県の事業に乗りきれないから、できる範囲を対応していかなければならない。現在の町財政状況は、決して良くはない。今回の支援事業費は、町財政に影響は。

またその対応策は。

**答** 町長 対策については、国・県の補助金を最大限に活用する。

現在、補正予算において、町費の持ち出しを抑制する方針で編成している。

4月・5月も含めコロナ禍感染支援策として、総額約10億4300万円の追加補正を行った。

財源は約96%にあたる、9億9800万円を国・県の補助金を活用し、一般財源については、財政調整基金や前年度繰越金を活用しており、現在のところ約3400万円と最大限抑制している。

**問** 財源確保するために、本年計画の事業をよく精査し、支援事業に充てることも考えられるのでは。

**答** 町長 対応に当たっては、本年度予定していた事業などを中止・延期・縮小を行い対応している。

先月「緊急事態宣言」が解除され、一部地域を除き事態が終息に近づいている状況も見られるが、引き続き感染防止対策や影響を受けた町内商工業

者などに対する支援が必要である。

今後、必要な行政サービスとの提供を維持するとともに、必要な態勢づくりを行うため、改めて各種事業などの見直しを行い、財源の確保に努める。

**問** 今後、新たな生活様式も変化していくと

思われる。地域のコミュニケーションまで変化するのはと危惧している。

安心、安全で暮らせる町として早急に確立できるように最善の策を。

また、町内の経済に大きな打撃を与え、各種事業者の方々が大変な思いとご苦労されている。出来る限りの支援策を講じるべきだ。

**答** 町長 新型コロナウイルス感染症防止として、3密を避け、マスクや消毒などの励行を心がけるよう、広報誌やケーブルテレビなどを通じ周知していく。

また、国の2次補正の内容が決定すれば、あらゆる支援策を講じていきたい。



コロナ禍にも事業を継続される workshop



久保田 龍泉 議員

**問** 今後の神石地区の医療体制は

**答** 町立へき地診療所とする

町長

**問** 神石地区の診療所を町が買い上げるが経過と金額、今後の医療体制は。

**答** 町長 クリニックから閉院の話があり、神石地区が無医地区になるのを避けるため、土地・建物を買上げる補正予算2156万円を計上した。買い上げ後は、町立へき地診療所として当面現状通りの診療がされるよう協議している。

**問** 町長は重大な決断をされた。過去に各地区に民間の診療所があり閉院する診療所を町が買い上げることはなかった。

無医地区になる事は避けなければならぬ。地元自治振興会、老人会、女性会などからクリニックの存続について要望書が出された。

**答** 町長 町が買い上げ、医療の継続を行う事は評価するが、医師確保の長期的戦略はどうするのか。

**答** 町長 医師確保については、町立病院や他の関係機関と協議をしていきたい。

**問** 診療所と町立病院とが必要になる。町立病院との訪問診療、訪問看護などの医療連携体制はどう構築するのか。

**答** 保健福祉課長 昨年12月末、訪問看護ステーションの閉所があり、現在事業所との引継ぎを行い、町立病院が訪問看護、訪問診療で対応している。

コロナ禍の支援

**問** 緊急支援給付金のうち、法人は従業員20人以下のみ対象で給付金最大50万円だ。この条件を21人以上も対象にして給付金の引き上げ、従業員割で給付すべきでは。

のため、学校給食に牛肉を提供したらどうか。

**答** 教育課長 県より給食に広島牛メニューを出すよう要請されたので、準備している。

**問** 繁殖農家の子牛取引価格が4月は以前より23%程度減少した。支援は考えないか。

**答** 産業課長 4月は子牛価格が下落したが5月分は5万円程度持ち直したので今後の取引価格を見て検討する。

**問** 医療機関での感染リスクを防ぐため受診を控える傾向があり患者数が減少している時期があった。経営状況を調査し、必要があれば経営支援も考えるべきでは。

**答** 保健福祉課長 マスク、消毒液など提供した。緊急支援給付金を活用していただき、経営を続けてほしい。経営状況をみながら支援していきたい。

**問** 肥育農家の支援として神石牛の消費拡大

**答** 政策企画課長 事業の継続を優先して給付するので対象とする。

**問** 継続支援給付金で税金の滞納がある事業者も対象とするのはおかしい。



町が買い取り、診療の継続が決まった鈴木クリニック

道の駅リニューアル後の状況は



小川 清治 議員

町長

答 赤字決算となった

町長 産直市場では  
産品確保と集客。  
ローソンでは利益体質

問 課題と対応策は。

町長 令和元年度の  
決算は5億2278  
万円で前年度対比106.  
7%3265万円増。  
来客数も47万375  
2人で、3578人の増  
だが、人件費増、仮店舗  
での営業縮小、売店休業  
百彩館売上の減少により  
1221万円の赤字決算  
となった。

問 今期の経営状況は。

町長 会社がしてい  
ることで、町の特産  
品として伸びてほしい。

問 クラフトビールの販  
売状況は。

答 産業課長 3月販売  
開始から381本売  
れている。

問 ローソンは前期24  
5万円、今期32  
0万円と8期連続で赤字  
となっている。民間企業  
なら考えられない。

答 産業課長 人件費と  
食品ロスの削減だ。  
対応策は。

答 町長 現在まで8件  
6240万円を支援

への体制強化、百彩館は  
売上減への対策。これら  
の対応策は会社で取り組  
まれると伺っている。

問 決算書に町長肝いり  
のクラフトビール  
について一言も無いがど  
う思うか。

問 赤字対策で全体の人  
件費を削減すると  
している。今年度予算で  
は1778万円増で、方  
針に逆行しているが。

答 産業課長 リニュー  
アルにあわせて従業  
員を4人増やしたためと  
聞いている。

問 農家所得のさらなる  
向上につながるよ  
う努めていただきたい。

答 町長 会社の方で議  
論され、取り組まれ  
ると伺っているので期待  
する。

神石高原地域創造  
チャレンジ基金

問 資金的支援と伴走型  
支援、新規起業育  
成支援や人材育成の状況  
は。

決定、5月末には一部返  
還があり資金の循環が始  
まった。事業体への経営  
支援、創業に必要なノウ  
ハウの説明会を行なっ  
ている。

問 今年度の課題と対策  
は。

答 町長 課題は財政基  
盤の確立だが、なか  
なか運営費が賄える程の  
成果が上がっていない。  
対応策は、事務局体制の  
地元雇用と事務的経費の  
圧縮、企業や団体への財  
団役員による積極的な財

政支援要請をお願いする。  
問 現在の支援先から返  
還完了の期日は。

答 政策企画課長 計画  
では、令和12年度だ。

問 チャレンジ基金から  
町への償還が来年  
度から始まるが償還は出  
来るのか。

答 政策企画課長 外部  
から財団への財政支  
援が計画通り出来ていな  
いので、ずれこみそつだ。



8期連続赤字が続く、  
やまびこローソン神石高原町店





木野山 孝志 議員

## 問 第3セクターの決算状況は

答 売上は増、スコラを除き赤字決算

町長

**問** 本町の第3セクターに於ける令和元年度の決算状況は。

**答** 町長

182ステーション

では産直市場が昨年11月に、フードコートと観光協会が今年3月からリニューアルオープンした。全体売り上げは、5億2278万円で6.7%増、3265万円増加した。しかし新体制のための新規職員採用による経費増や売店の休業、百彩館などの売上減により1221万円の赤字決算となった。

課題は、産直市場の地元野菜・産品の確保、ロ

ソンは赤字体質の解消、百彩館では売上減への早期対応などだ。課題を整理し対応したい。また、産業課、高原の風、観光協会などと連携強化を図り地域情報の発信と利用客の誘導を図りたい。

**神石高原農業公社は、**

売上は前年度とほぼ同額だったが、最終決算では213万円の赤字となった。

新規職員採用による人件費の増、ドローン作業の外注費増加が大きな要因だ。

赤字部門を分析し、黒字転換・補助金依存体質の脱却を図りたい。

**帝釈峡スコラは、昨年**

4月に帝釈の湯、スコラ高原荘がリニューアルされ、大学合宿誘致など本年2月までは順調に推移したが、3月からの新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は9079万円、純利益は74万円にとどまった。

**問** コロナ感染防止対策による影響と対策は。

**答** 町長

182ステーション

では可能な限りの感染予防対策を取ってきた。幸いに感染はなかった。

営業には大きな影響を受けたが、リニューアル効果もあり単純比較は出来ない。

今後は、イベントの積極的な展開、ネット販売強化、他の道の駅との連携などにより売り上げ増に繋げたい。

**農業公社は消毒液配置、マスク着用など防止対策を取った。売り上げや運営に特に影響は無い。**

**帝釈峡スコラは、戦略**

的なPR活動の強化、大学や旅行代理店への営業活動の再開、企業向けテレワークプランの提供、レトルト商品のネット販売などを計画している。



コロナ対策で、飛沫防止を行っている道の駅店内

### コロナウイルス対策と学習指導要領

**問** 感染防止のため学習指導内容の変更があるのか。子供たちの学習内容、学力への多大な影響があるのではないかと危惧するが対応は。

**答** 教育長 感染症防止対策を講じてもお

感染リスクが高い学習活

動については、可能な限り感染防止対策を行う。カリキュラムを見直す際は、学習指導要領に規定されている指導内容を明確化し、指導方法を柔軟に見直すことが求められる。

教育委員会としては、各学校における実施状況を把握し、不十分であれば必要な指導助言を行う。

## 問 どう取り組む コロナ禍の町政運営



寄定 秀幸 議員

町長

**答** 町民を第1に全身全霊で取り組む

町民の心や経済や雇用がコロナ以前の状況へ戻っていくよう、注力し町民を第一に思い、人と自然が輝く神石高原町の創造に全身全霊で取り組む決意である。

**問** コロナ禍での町政運営は。

**答** 町長 「新しい生活様式」を念頭に置いた町政運営が必要となる。ソーシャルディスタンスや咳エチケット、テレワークの推奨など、従来の考え方を変化させる必要に迫られている。しかし、人と人が繋がり、人と人との関係が社会や経済を動かすことに変わりはない。

**問** コロナ禍を踏まえた防災・減災対策は。

**答** 町長 避難所の環境整備や受入体制の整備については、今回広島県より示された「新型コロナウイルス感染症に係る避難所運営マニュアル」などに基つき対応する。

基幹避難所へ配置する職員は、新型コロナウイルスの感染予防や避難者の健康状態を把握するため、今回から、保健師を1名ずつ増員し、1施設3名体制に強化する。

**問** 新型コロナウイルス感染症は、人類への挑戦であり、「応戦」しなければならぬ。少子・高齢化、人口減少という課題に直面する中、「ピンチをチャンス」に、反転攻勢への構想はどうか。

**答** 町長 新型コロナウイルス感染症は、今までと違った「新しい生活様式」を日常に取り入

れざるを得ない社会変化をもたらした。コロナ後は今までにない産業や取り組みが始まり、まさに、中山間地域にチャンスが来ると思う。

当然、セーフティネットは引いておく必要があるが、「ピンチをチャンス」ととらえ、新しい考え方で「トライ」をしようとする人を、しっかりと支援できる体制を組む。そしてその人々が町の経済やまちづくりをけん引していくような、新たな価値を創造したい。

**問** 臨時休業に伴い、パソコンなどの情報通信技術（ICT）を活用したオンライン学習が目される一方で、そうした機器や通信環境が整備されていない学校・家庭への対応が問題となっている。

「GIGAスクール構想」の早期実現を。

**答** 教育長 全国的な休業期間中の家庭学習の手段として、教科書に

基づいた学習に加えてオンライン教材などを活用した学習や、同時双方向のオンライン指導を通じて学習が開催されている

自治体もあり、早期の改善を進めなくてはならない。

本町は、GIGAスクール構想に早くから取り組み現在計画を進めており、早期実現に努力する。



新型コロナウイルス対策の為に、避難所運営訓練



小川 善久 議員

# 問 複合災害に対して 避難所の準備は

答 県の避難所運営マニュアルに基づき行う

町長

**問** 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症と地震・洪水・土砂災害が同時に起こった場合の避難所の備えはどのようにしているのか。

**答** 町長 避難所運営マニュアルに基づいた対策を行う。

飛沫感染対策は、段ボール製間仕切りなどの活用で、避難者同士の間隔や動線を工夫する。本町の地域防災計画では、食料・飲料水の配備基準を各家庭で3日分程度、町は発災後2食分程度の備蓄予定だった。現在は平成30年豪雨災害時の避難者数を目安に、3日分の確保を行う。

**問** エコノミークラス症候群などの健康リスク抑制のために避難所への災害用ベッドの配備は

**答** 総務課長 段ボールベッド34台、エアーマット200台程度、県から支給された。

**問** 支援避難所の登録数が減っている。備蓄品の代金の削減のためか。

**答** 総務課長 42カ所の支援避難所を30カ所にした。平成30年豪雨の時、開設した避難所16カ所の内、実際に役場が開設出来たのは、6カ所だった。また、登録削除した避難所の内、9カ所は土砂災害危険地域であった。基幹避難所の定員を超過する場合に準基幹避難所を開設する。それ以外の避難所は、自主防災組織が開設をする。



ネット販売されている  
産品セット

## 学校の感染対策は

**問** 今後來たる第2波・3波に対する備えと対応マニュアルは。

**答** 教育長 高速大容量の通信ネットワークを整備することで子供たち一人一人の資質・能力が育成できる教育環境を実現する。感染症対策で臨時休業した場合には、オンライン学習などにも使用する。

また、感染者が出た場合には、衛生管理部門と状況を総合的考慮し、臨時休業の必要性・規模や期間について十分相談の上、判断をする。

しかし、安定性向上の観点から、かがやきネットの利用を勧める必要があると考える。

## 観光施設の対策は

**問** 観光施設の減収に対する措置と対策は。

**答** 町長 様々な支援給付金で減収に対する支援を実施している。これからの売り上げ対策は、感染症への不安をなくすことが求められる。

**問** プッシュ型の営業も必要では。

**答** まちづくり推進課長 安全性のPRやネット販売を通じて、観光客との絆を継続する。

**答** 教育課長 保護者のスマートフォンを含めれば、99%である。

**問** 家庭でのインターネット通信環境の現状は。

**問** 本町で新型コロナのPCR検査を



林 憲志 議員

**町長** **答** 費用対効果で難しい

**保健福祉課長** 医師の判断で前よりはPCR検査を受けやすくなっている。公共交通機関は使えないので、どう

**町長** 検体をとるのは福山・府中へ行き、広島で検査するという体制だ。費用対効果から、福山に検査センターがないものを町内にはおけない。

**問** 県内で検体採取ができないのは1市7町で本町も入っている。町内で、PCR検査の検体採取などはできないのか。また福山に検体採取に行く場合の交通手段は。

しても行けないなら保健所が迎えに来るケースはある。

**介護・医療現場での対応は**

**問** コロナ禍の自粛で、外に出られず、筋力低下が進んでいる場合もあると考えられるが、町は現状を把握しているか。

**保健福祉課長** 町が把握できる方には、電話をかけてその状況を聞いている。今後、介護サービス事業所とも連携しながら聞き取りをしていく。

**問** 介護事業所で陽性患者が出た場合、入院は出来るか。医療機関との連携はどうなっているか。

**保健福祉課長** 介護施設に対し感染症対策に係るヒアリングをす

る予定だ。第一波で困られたことや現場の声を一緒に聞き取りをしながら医療機関も含めて体制作りをしていきたい。

**新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店**

**問** 安心安全が経済の循環にも繋がっていくと考えるが、宣言の確実な履行と拡大の取り組みは。

**答** 政策企画課長 行政がそういった取り組みをするよりも、業界の団体の方々の積極的な取り組みを支援する。提案は商工会に伝える。

**神石地区の訪問診療**

**問** 現在、診療所の訪問診療ができないが施策は。

**保健福祉課長** 町立病院などの連携を含めて検討していきたい。

**私有林の育林は**

**問** 林業者が、山の木を先払いで買ったが、コロナ禍で原木の価格が下がり、伐採を躊躇されている。伐採後の育林を条件に支援は出来ないか。

**答** 産業課長 持続化給付金・各種給付金や町単独でも支援しており

考えていない。

**問** 育林家には持続化給付金が降りないという例も聞いている。

草木地区の分収林の保育間伐だが、近隣に私有林もある、作業道をつければ、山主の意欲が湧き、森林施業が行われると思うが。

**答** 産業課長 森林組合が草木地区の森林計画を策定し、間伐などの施業をしており、間伐と作業道をセットでできないかを協議する。



感染症対策取組宣言店の指定を受け間隔を保って、お客様を迎えるスコラ高原



赤木 俊二 議員

# 問 田舎への関心をどう考える

答 地方への見方に変化がでてきた

町長



**問** 新型コロナウイルス感染症の影響で田舎への関心が高まっているとの報道をどう考えるか。

**答** 町を応援目的のふるさと縁応援隊はどうなったか。現在の状況は。

**答** 町長 コロナ禍で都市部が抱える密集などの問題に不安を感じている人が多く、地方への見方に変化が出てきた。

少しでも本町に関心を持ってもらう事を目的に始めたふるさと縁応援隊だが、現在は町友会や郡友会と連携し、会員の募集を行っている。本町に本籍がある方は、2万2千人弱。目標をこ

の数字に据え、会員を増やしていきたい。

**答** 政策企画課長 今年から取り組み、町友会・郡友会や町民の方にもご親族にお声掛けをし

てもらっており現在40人程度。町の魅力を伝えてもらうため新しい係も設置した。

## おためしオフィス

**問** 企業誘致でのお試しオフィスの活用は今

だからこそ必要では。利用を伸ばす方法は考えているか。

**答** 政策企画課長 今年集できていない。昨年

は14社の利用があった。この企業とのつながりも視野にいれ募集していきたい。

**答** 町長 お試しオフィスは田舎にとってもチャンス。

また、ふるさと縁応援隊は外からみた魅力を石に届けていただけると考える。

## 高校卒業後の ブリ奨学金制度

**問** 町民がかかわり、高校生が出世魚のように勉強して帰ってくる

といったブリ奨学金制度は町単独の規模では金融機関のシステム都合上難しいということであった。他市町の高校や行政との連携を模索することも必要と考えるが、進捗はどうなっているか。

**答** 町長 奨学金の検討では、どう特徴的な

制度設計をするか。また、そもその考えの中で町民・行政・金融機関がかかわることが必要だが、町民の皆さんが関

与できる仕組みをどう作るかが課題で、現在、担当課が鋭意検討中だ。

**問** 例えば、赤い羽根募金のような取り組みで、町民の方に丁寧な説明を行い、基金を作っては

**答** 政策企画課長 効果的な取り組みを検討中なので待っていて欲しい。

**問** ブリ奨学金を県内の町に紹介し、規模を広げることによって金融機関の採算に見合うようにしては

**答** 町長 連携すればできることがあるのではないかと考える。

奨学金対象者に町全体で応援している意図を伝えることも考えている。



活用が期待されるおためしオフィス（油木山村開発センター）

**問** 感染症が町内企業へ及ぼす影響は



横山 素子 議員

**町長** **答** 非常に大きい

**問** コロナ禍により、緊急事態宣言が出され、町内でも様々な行事が中止となり、学校も臨時休業となった。

この事による町内企業に及ぼす影響とその対策は。

**答** 町長 町内企業への影響は非常に大きいものと考えている。経済対策の第1段として、町単独で緊急支援給付金を6月11日時点で104件、3000万円あまりを支給している。

今後も状況を見ながら機動的に企業支援を行っていく。

**問** これからは「新生活様式」によって生活が変わると思うが、イベントなどの開催はどのようにしていくのか。

**答** 町長 3密を回避し、消毒・マスク着用などを定着の前提として、外出自粛や、施設の使用制限を緩和しながら、段階的に社会経済の活動レベルをあげていくように進める。

**問** 高齢者が自粛により出かけられなくなった事による、体力の衰えや気分の低下などの実態調査は。

**答** 町長 自粛中は、高齢者世帯に対し、電話で声かけをしてきた。「通いの場」の活動自粛アンケート調査を行っている。

その結果を見て、自粛期間の体や心の変化を分析し、対策にいかしていく。

**問** 学校の臨時休業による学習への影響と子供の心のケアは。また、第2波が来た時の対策は。

**答** 教育長 臨時休業により生徒への学習及び生活への影響が出ている。再度指導計画を見直し、夏季休業などを活用した授業の実施を行う。定期的に心身の健康状態を把握し、心のケアを丁寧に行っていく。

1人1台の端末導入やインターネット環境の準備をすすめているので、第2波の発生時、自宅での学習活動として、活用していく。

**問** 災害が起きた時の避難所の対応は万全か。

**答** 町長 マスク・消毒液などは、各避難所に配備しており、現在のところ十分対応できるものと考えている。

**問** 今後町内で感染者が出た場合、間違った情報が飛び交わないように情報発信は慎重にして頂きたいがどうか。

**答** 副町長 感染者が出た場合、基本的

には県が公表し、それを受けて町が記者発表をする。その際、県と連携して、確実な情報を流すよう心がけていく。

また、間違った情報には注意するように呼びかけていく。



自粛が解除され元気に百歳体操を楽しむ皆さん



横尾 正文 議員

# 問 倒産や廃業を防ぐには

答 第三弾の支援策が必要

町長

**問** コロナ禍によって倒産や廃業があつてはならない。今後町がこれを防ぐために何を行う予定か。

**答** 町長 まず、町内の経済動向を注視することが肝要と思う。今の状況が悪化若しくは続くようであれば、第三弾の支援策が必要となる。商工会と連携して効果的な支援をしていく。

## クラフトビール

**問** さんわ182ステーションで販売されて

いるクラフトビールは、発泡酒である。店頭に表示職には地ビールとして販売されていた。

なぜそうなったのか。法的に問題はないのか。

**答** 町長 地ビールという呼称については、個性あふれるビールを少量生産している醸造所のビールの大まかな総称として認識していたので、地ビールとしてPR表示していた。

本体ラベルに「発泡酒」と表示しているから、そのことだけをもって法的に違法であると思わない。出資者の立場で、商品表示などについては、消費者に誤解を招くことのないよう、助言をしていく。現在は地ビール・クラフトビールの表記はやめている。

**問** このことを議会、前産業課長、観光協会なども知らなかった。やはり問題があるのでは。

**答** 町長 クラフトビールが全体の総称と考えていたので、私もビールか発泡酒か認知していなかった。議会などへの説明はしていなかった。

## 森林管理

**問** 森林所有者へのアンケートの進捗状況は。庄原市や三次市ではアンケートの結果、市への管理要請が多いため計画の見直しを強いられている。アンケートは慎重に行い、関係機関とよく協議し、整備計画を変更すべきでは。

**答** 町長 今年度は、今後の森林管理の意向調査のアンケートを実施予定だ。アンケートの実施に向けては、県、森林組合と十分協議しながら、住民の皆様にも誤解をまねかないよう慎重に取り組む。

**問** 森林環境譲与税による事業展開は。また、林地台帳の整理に活用しては。

**答** 町長 地籍調査完了地区の明確化、ひろしまの森づくり事業の対象にならない森林の整

備、既存補助事業で整備できない森林整備、林道などの維持修繕・機能強化などの実施を検討している。

林地台帳については、県の林地台帳システムにより運用している。



182ステーションで販売している発泡酒

# こんなことが決まったよ

— 主なもの —

## 工事請負契約の締結

【5月臨時議会】

工事名 神石高原町新庁舎建設工事  
 請負金額 16億3669万円  
 請負者 戸田建設株式会社 広島支店  
 工期 至 令和3年8月20日

工事名 小中学校情報通信ネットワーク  
 環境施設整備工事  
 請負金額 5830万円  
 請負者 大和電気工事株式会社  
 工期 至 令和2年10月30日

他2件

賛成多数

賛成多数

## 条例の一部改正

町条例の一部を改正

・新型コロナウイルス感染症に係る税の徴収猶予や控除

手数料条例の一部を改正

・個人番号通知カード再発行の廃止によるもの  
 他2件

全会一致

賛成多数

## 条例廃止

参事の設置に関する条例

・任期満了によるもの

賛成多数

## 議員発議

### 適正な議員定数とは

### 議員定数等調査 特別委員会の設置

社会情勢に対応し、議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくため、本町議会における適切な議員定数等について調査研究を行うことを目的として設置する。

### 地方財政の充実・強化 を求める意見書の提出

令和3年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、政府に求める。

提出者 木野山孝志  
 賛成者 横尾 正文

提出者 橋本 輝久  
 賛成者 寄定 秀幸

## 議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山孝志	小川 清治	久保田龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本議長
議員定数等調査特別委員会設置	○	○	○	○	×	○	—	○	○	×	○	—
新庁舎建設工事 【5月臨時議会】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
参事の設置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

その他は全員が賛成 議長は採決に加わらない





**大活躍!!**

# 油木高校のドローン



ドローンから撮影した油木高校



ドローンアカデミーの皆さん

地域の課題を解決する

ドローンアカデミー

油木高校魅力化プロジェクトの一環として、町からドローン2機が貸与され始まったドローンアカデミーは現在13人が在籍し、その内4人がライセンスを取得している。活動班は空撮飛行班、ライセンス班、農業班にわかれ、スギ花粉調査や空撮、地域の物的投下活動などに参加し活動の場を広げている。今後は様々な事業に参画しつつ更なる魅力化につなげ高校生の将来の財産となるよう応援します。

## まちの声

皆さんの要望・意見・感想など  
主なもの

● 老人を対象に活気ある催しものなど考えていただき、出歩ける場所と出会いを求めます。  
(70代 女性)

● 子供（給食）・老人（ふれあいタクシー）にとつて厳しい年になります。財源も厳しいので頑張りたくないといけませんね。  
(80代 女性)

● 4か町村の合併により誕生した神石高原町。早いもので17年を数えますが、この17年は大きな自然災害並びに人類の存続危機となりそうなるコロナウイルスと大変です。ガンバレ  
(60代 男性)

● スクールバスの意見を読んだ「そんな考え方があったら」って思いました。今は昔と違ってあまりにも人が少なく「歩く」こと自体が危ない状況なんですよね。保育所の子だと親が送迎となるとかなり難しいんですけどね。  
(50代 女性)

● 新型コロナウイルス感染症によって本当に怖いですね。いつまで続くのでしょうか。私も心臓の病気があるので気を付けようと思っています。  
(60代 女性)

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

### クイズの答え

- ① 一步
- ② 道の駅
- ③ 提言

### 第44回議会クイズ当選者

油木地区

中元 清子さん

おめでとうございます！

お詫び 令和2年4月15日発行の第62号「元気なグループ紹介だよ！」の代表者の氏名に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。  
正三吉 貴子  
誤三好 貴子

# 元気なグループ紹介だよ!



ワサビ栽培に汗を流す有木・中平の皆さん

豊松地区の有木・中平に住んでいる私たち若い世代で、地域を活性化しようと立ち上げました。  
還暦を超えた者や間近に向かえる者になってしまいましたが、現在は、20代30代の若者も加わり、地域の陰樹伐採や有木地域にある魚切り溪谷周辺の草刈りなど一緒に汗を

**有木自治振興会**  
**有木・中平を**  
**考える会**

流しています。  
清流を活かしワサビの栽培に取り組んでいましたが、一昨年の豪雨により、収穫間近で全滅しました。  
今年から、今までの経験を糧に再度基盤整備から行い、立派なワサビが食べられるようメンバークリ切り、毎週日曜日に作業に取り組んでいます。  
ブレッジハウス仁吾川でワサビとお酒で楽しい会ができるよう頑張ります。



魚切り溪谷周辺の草刈り

■発行責任者 議長 松本彰夫  
■住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 08471891340  
FAX 084718514201

## 第45回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- ① コロナ禍に〇〇〇〇のための予算
- ② 今後の神石地区の〇〇〇〇は
- ③ 大活躍 〇〇〇〇のドローン

💡 ヒント 議会広報をよく読んでね!

### ●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

### ●あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025番地  
神石高原町議会事務局「第45回議会クイズ係宛」

### ●締め切り

8月17日(月)消印有効

### ●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

## 議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は **9月**です

編集後記

メディアによれば、都市部では、未だ特別定額給付金を待っていると聞きます。

神石高原町では、全ての緊急支援対策特別給付金は申請後、翌週水曜日に給付されました。

このスピード感は、町民の信頼を獲得しました。議会広報誌『みんなの町議会』は議会終了後、翌月15日以降には町民の手に届きます。これは全国でもトップクラスのスピードです。

これからも「早く、分かりやすく、正確に」を心掛け信頼される議会に繋がりたいと思います。(小川善久)

### 表紙の紹介

コロナ禍でも力を合わせスナップエンドウの手入れを行う高橋さん一家。(神石地区)



### 議会広報常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 赤木 俊二 |
| 副委員長 | 林 憲志  |
| 委員   | 木野山孝志 |
| 委員   | 横山 素子 |
| 委員   | 小川 善久 |